

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ

横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14 - 304号 TEL&FAX : 045-306-9993 MAIL : office141@takefan.jp

URL : http://takefan.jp

現在の会員数 正会員 129名 / 準会員 8名 / 賛助会員 個人 17名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 121名)

「環境保全と健康づくり」!

書を捨て野に出よう「グリーンジム」活動の普及

人生百年時代、竹ファンクラブにも高齢化の波が押し寄せています。国も雇用延長や外国人労働者の受け入れでこの難局に挑もうとしています。竹ファンも会員だけでの乗り切りは難しく、外部の人の受け入れを真剣に考えなくてはなりません。1990年代後半英国で始まった緑の保全活動を通じて体力を養い健康を保つ目的の「グリーンジム」活動をヒントに一般参加者を増やす道を考えます。

相性がいい環境保全と

健康づくり

英国発の「グリーンジム」活動は室内ジムとは違い、緑の保全活動を通じて体力を養い、身心を鍛える活動である。ここには自分が前面に出ているところがこれまでと違うところである。確かに竹林に入ると癒される。竹ファンの会員を見ても高齢で元気な人が多い。癒しだけでなく身体を使うことで健康を維持しているからであろう。現代社会が抱える様々な課題、高齢世代の「孤独」や「うつ」「痴呆」、仕事に子育てに忙しい働き盛り世代

の「心の健康」や「メタボリックシンドローム」、青少年や若者の「不登校」や「いじめ」「ひきこもり」といった心の問題などについて緑の環境保全活動と健康づくりは相性がいいといわれています。

竹林保全で心と

身体を健康に

自然の中で体を動かすことは身体的効果やリフレクシユ効果、メンタル効果など様々な効果が期待できます。竹を伐る、運ぶ、斜面の上り下りは筋力を鍛え、持久力がつくだけでなく、血流促進など健康保全につながります。

里山の竹林での作業で流す心地よい汗は充実感、満足感、達成感、社会性、などの生きがいづくりにつながります。

竹林のすがすがしさは心を癒してくれるだけでなく疲労回復の効果もあります。自ら体を動かし竹林を手入れすることで「認知症」や「うつ病」にも効果があるといわれる作業療法など、竹林を楽しみながらこころと身体の健康増進が図れます。

自分のための保全活動へ

竹ファンクラブも発足当初こそ多様なプログラムで一般参加者を募る努力をし

てきました。事業活動にはむしろ会員より一般参加者の方が多い程だった。しかし、現在は会員中心の活動になり、高齢化と活力の減退が加速しています。今こそ初心に帰り、しかも新しい切り口で参加者を募る努力が必要な時。

これまでは社会貢献活動としての環境保全活動だった。これからは自分自身の心と体の健康づくりとしての環境保全活動に発想を変え、多世代を取り込む募集活動を展開したい。

里山の竹林の環境保全活動で心地よい汗をかき、心身をリフレッシュし健康を向上させよう!

理事長 平石 眞司

小机城址支部

第15回小机竹灯籠まつり開催に向けての作業が始まりました。

今年は風台風の直撃を受け倉庫の屋根も飛ばされ、今年芽を出し伸び盛り竹もかなり倒されていました。

まず初日作業前日に有志が灯籠製作用の竹に目



印テープを300本に巻きつけ準備し、次回からは選ぶことなくチェーンソーで伐採し作業場所へ運搬する作業でした。

創作灯籠設置場所と考えていたD地区は大木が倒れ、創作灯籠の設置には見通しもよくなりまし

たが後始末が大変でした。

今年は雨が少なく作業は順調に進みました。

まつりの後は、灯籠の片づけで、灯籠を集積し、割り、チップー掛けし林床に返す作業で、この作業は年度内一杯かかりそうな感じです。

最後に参加して下さいました都山流尺八の会、日吉台中学校、城郷小学校、小机小学校、岩崎学園保育園、地元町内会、第20団ボーイスカウトのほか、多くの皆さんに御礼申し上げます。

担当…真板保昌



活動日 9/9・23・30、10/6・7・13・14・20・21、11/10・25 延参加者：233名

横浜国際プール支部

久々の9月は夏休みの間に伸びた細竹の処理と下草刈りに汗を流しました。特にマダケとモウソウチクエリアの境界付近とあずま屋エリア西端の草はたつぷり！この春おもて年に出た筍も立派に凛として生長し、特にサブプール際斜面は見上げれば密度も濃くなり、年々太くたくましくなりました。これだけ密度が濃くなると今後の間伐も本数が増えます。

11月も半ばが過ぎ、20℃超えのなか9月30日の夜半に受けた台風24号暴風の倒竹被害処理を進めました。何とも残念なことに大半は春に出た一年生竹、地下茎の張りがまだ甘いのか、稗の下部は竹皮がまだ巻付き、節には純白パウダーがたくさん付いている新竹です。台風翌日に園路閉塞するような物は除去しましたがこの日ですっきりきれいになりました。雑木の枝折れなど竹だけで

なく結構な量となったが協力隊の力で元の景観を取り戻しました。また枯竹の処理と年明けの“どんど焼き”協力の材料確保もさらに進みました。

担当…根岸秀行



活動日 9/15、11/17 延参加者：23名

こどもの国支部

竹林整備に最適な季節になりました。10月9日、23日、11月13日は、前月の台風の影響で園内通路等に倒れた竹はこどもの国スタッフで片付けてありましたが、竹林内はそのままの状態なので、倒れていた竹を中心に除去しました。

11月27日午前中、地元の小学校5年生約90名が、校外学習の一環として竹の間伐体験にきました。竹林での注意事項や竹の伐り方等の説明をした後、9班に分かれ、竹ファン指導の下に作業を開始しました。テープで巻かれた太い竹・細竹



活動日 10/9・23、11/13・27、延参加者：171名

を一人一本ずつ伐り、初めはぎこちなかった手も後半にはスムーズに動きもつと沢山伐りたいと言いう子もいました。伐った竹は、稗を3mに玉切りにし竹林から広場に運び出し、そこで学校の工作で使う竹も切りました。ヒヤリハットも怪我もなく、各自、工作用の竹を持って、満足した笑顔の子供達を送りました。体験時にはこどもの国スタッフに陰で応援して頂き、スムーズに進みました。その後、竹ファンで後片付け、ミーティングをして、次回の体験時に生かすようにし、本日の作業を終了しました。

担当…中元秀幸

竹取協力隊から

中井町支部

当期間の作業活動は、竹林の中心より東南方向の起伏の激しい谷間で4〜5年前に再整備を行った区域と維持管理区域のやまゆりライン沿いを主に間伐・運搬・焼却・チップ処理等の整備を行い当面は、当区域の作業を継続する予定です。

「竹林整備とみかん狩り」は11月23日 参加者：26名、町役場より半分形竹林まで、前年と同様にマイカーで来られた方のご厚意で車で移動致しました。竹林整備は竹取協力隊が9月より手掛けている区域を班別に別れて作業をして頂きました。



伊豆の国支部

この日は高速道路が渋滞し5名の方が遅れて参加4班に編成しました。昼食は、BBQ班リーダーのY様に献立の立案や食材の加工調理を依頼、当班メンバーの皆様準備して頂きました。

みかん狩りは竹林の北側にある丁農園さんで、みかんの収穫体験と野菜（大根・長葱・柿・キュウイ）の購入を行い安価で新鮮な品物が調達出来ました。秋晴れと皆様のご協力を頂き無事にイベントを遂行する事が出来ました。

担当…石川正壽



活動日 9/13、10/11、11/8・22・23 延参加者 57名

この季節にしては暑い10月8日、11月11日の両日に夫々約25名で、金谷研修センター前の真竹林でチップ処理と台風被害で倒れた竹の処理を行いました。

数年前に作った遊歩道は健在でしたが、雑草と小木を処理して修復するも、全行程でイノシシ被害が目立ち、害獣駆除の必要性を痛感しました。市役所の方々の熱心さにつられてか、地元の方々も元氣洗刺、研修センター前のチップ処理を完了しました。



都筑折本

温暖な地、稲刈りの遅い同市では11月初めは農繁期、お忙しい中、お手伝い有難うございました。

担当…五十川健郎



活動日 10/8、11/11 延参加者 50名

竹取援農隊から

都筑折本

11月4日の作業は、5ヶ月ぶり、集合広場は雑草が繁茂しており、最初の作業は広場の草刈りから始まりました。

竹林内部では、台風24号による被害があり、約50本が倒れていたり、途中で折れている物がありました。本日は6名で、上段・中段をメインに作業しました。

これまでは間伐した竹をチップ機により粉碎して、林床に戻してしまいましたが、経費がかかり過ぎていたことが問題となつています。

そこで、チップ機を使用しない方法です。

「竹ファン新方式」

間伐↓割る↓裂く↓積む間伐した竹の枝は、いつものように枝打ちし、稗の部分の先端を掛矢で割ります。割れた部分を近くの竹に差し込み、押し込む人と引っ張る人で協力して裂きます。裂かれたものは軽くて持ち運びも楽になります。四ツ割



り器も不要です。これを所定の場所に内側の方を上にして積んで行けば、丸いままの竹を積んで置くより、早く腐食します。この新方式はその後、小机の一部でも行われています。

報告…榮 千彰



活動日 11/4 延参加者 6名

15周年を迎えて

理事長…平石眞司

昨年は荒天のため2年ぶりの開催となり、千九百人余の入場者を迎え、盛況裡に終えることができました。

今年は初めて地元からの参加もあり、まさに地域と一体となった祭りが実現した瞬間でした。

15年前、6千本の竹灯籠と6百人の入場者で始まった竹灯籠祭りも初日は雨、以来15回中6回が雨に見舞われるという悪いジンクスを生みながら、多くの人に支えられ今日まで続けられたことに感謝申し上げます。

竹林で行われる日本最大規模の祭りは幻想的に見る人を感じさせるだけでなく、竹林の再生と地域の活性化というメリツトを生んできました。

一方、課題も山積してきました。祭りの継続的な開催は竹林の間伐と再生を約束します。知恵を絞り、これからの15年に歩を進めたいと思います。

10月27日、第十五回

小机城址市民の森竹灯籠まつりが開催され、千九百名余りの来場者がありました。昨年は台風の影響で史上初の中止となりましたが、今年は準備段階から晴天に恵まれ、順調な進捗でした。

9月初旬に竹取協力隊による間伐作業、10月に入ると竹灯籠の製作に移

り中旬までに作り終えま

した。毎年参加の日吉台中学校の皆さんも作品を作りに来てくれました。今年も、昨年筍畑に新しく設定した、水面に灯籠の灯りを映す事がなかった人工池のリベンジ製作を担当メンバーが並々ならぬ熱意で実施しました。26日は前日準備で本丸広場に本部テントの設置

資材、機材の搬入を行い

灯籠用の水の準備も済ませました。さて27日の竹灯籠まつり当日も晴天に恵まれました。あかりびとに久しぶりに参加の米軍横須賀基地のハイスクールの先生と生徒、地元の有志の皆さん、UPSさん、一般ボランティアさん達と竹灯籠に水口ウソクを入れ、その後の点火を無事に終わりました。薄暗くなると竹林内に竹灯籠の灯りがくつきりと浮かび上がり、幽玄の光景が出現しました。17時には入口に2年ぶりの竹灯籠

まつりを待ちわびる皆さんの行列が出来、開場す

ると竹林内に灯る竹灯籠の美しさに感嘆の声を上げながら見物の列が続いていました。筍畑に設置した人工池に映るオブジエ灯籠や水に浮かべた竹灯籠の美しさが大変好評で、毎年来ているという女性の方から今年が一番良かったという感想を聞

き、製作したメンバーの

努力も報われました。飲食コーナーや物品販売も大好評で終了時間より大分前に完売となりました。2年振りの竹灯籠まつりが、皆さんのご協力で無事終了した事に感謝し、今後も小机の町おこしとして、さらに進化することを期待します。報告…山根泰裕



竹の学校からの報告

竹林管理コース

竹に少し興味を持ち始めた頃、TV番組で放置竹林をテーマにした番組を見てこのままで良いのかとの思いになりました。竹を知りたいとか竹を切ってみたいという欲求が湧きだしたのですが、すぐに取った行動はグーグルで検索ばかり。

その過程で竹ファンクラブのことを知りました。50過ぎたあたりから、毎年なにか新しい事を始めてみようという思いがあります。すでに先にやりたいことがあったので、今年初めて参加した次第です。祖父の言葉として父から先日聞いたのですが、「竹を切る時期は、霜が三回降りてから大寒まで」が良いそうで、この時期に切った竹は細工しても虫がついたり腐ったりし難いとの事でした。今の興味・関心は竹を産業として活かす方法、竹による自然環境の回復、放置竹林を宝の山に変える方法といったことに関

心があります。爆発的な成長力はなにかに役に立つに違いありません。「竹に魅せられて竹をこよなく愛する」というタイプではありませんが、竹とは長い付き合いをしてゆきたいと思っています。

報告：福島 勝



出前講座からの報告

栄区区民まつり竹細工講座・竹灯籠設置

11月3日は、栄区区民まつりの一環で、竹細工講座です。本郷台駅近くの本郷中学校体育館へ会員4名が行きました。内容は、子供達にはカタツムリ30個、大人には四海波花籠15個の作成です。開始早々、花籠の希望者が来て、早速作ります。

最初の4本から16本を組み合わせていくが、ヒゴを均等な間隔にするのに四苦八苦していました。また、180度以上に曲げる時にはとても力が要り、かなり苦勞をしていました。もう一つはカタツムリで、子供たちも完成後は嬉しそうに、得意気な



顔で帰っていききました。終了後に役所の方から、皆さんが喜んでいたら聞き、竹ひご作成工程からの苦勞が報われました。12月7日は本郷台駅前の公園に4コーナーに分け、350本の竹灯籠を設置しました。区役所用意のLEDキャンドルを入れる為、風の心配が無いので助かりました。集まった方々に竹灯籠の内側に文字を書くワークショップも盛況で、100個全てがなくなつたそうです。この日、駅前の公園で竹灯籠かざりを見た皆さんの心が癒されたとすれば、嬉しい出前でした。

報告：榮 千彰

TAKEFAN NEWS



富士山を望む富士市比奈、ここには「かぐや姫竹取物語」が伝えられている。諸説あるが「かぐや姫」は共に暮らした「国司」に手紙と不老不死の薬を残して月に帰ったのではなく、富士山に帰ったとある◆住宅街の一角にある「竹採公園」、竹林は静寂につつまれて隣は大きなお屋敷になっている。日本最古の物語を考え、この近くに「かぐや姫」が住んでいたという伝説ある公園は夢スポットのようだ◆さほど広くはないが30年ほど前から富士市が借り受けて整備しているが地主さんにとっては現実的な問題も抱えているようである◆小机城址市民の森が次世代への相続時に状況によって自治体がいよいよ、この由緒ある幻想的でロマンチックな伝説の土地、地主さんの胸中やいかに。

【新入会員紹介】 小坂晋也（横浜市港北区）（敬称略）

【寄付金】

個人：第15回小机城址市民の森竹灯籠まつり来場市民の皆様
団体：小机商店街協同組合、小机城址市民の森愛護会

【活動報告】

- ◆横浜市環境創造局活動支援センター
 - 9月12日 森づくり活動の為のリスクマネジメント研修
 - 11月18日 竹細工職人による手作り竹箒講座
- ◆神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
 - 9月29日 ファンドレイジング講座
- ◆栄区区政推進課
 - 11月3日 出前講座：栄区区民まつり
 - 12月7日 出前講座：竹灯籠かざり設置
- ◆12月1日 水資源環境保全・再生かながわ県民会議 第42回県民フォーラム
- ◆12月16日 理事会開催
- ◆12月23日 通信冬号 NO.76 発行

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

1月8日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
1月10日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐と冬の施肥 10:00～15:00
1月12日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐・竹垣作り 10:00～15:00
1月13日(日) 協力隊	横浜国際プール(隣接地) 北山田どんど焼き協力 8:30～13:30
1月19日(土) 協力隊	小机城址市民の森 10:00～12:00 竹灯笼チップ化と四ツ目垣改修(AM)
1月20日(日) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐と施肥 10:00～15:00
1月22日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐と竹垣作り 10:00～15:00
1月24日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐と竹垣作り 10:00～15:00
1月26日(土) 協力隊	小机城址市民の森 10:00～15:00 間伐と四ツ目垣・竹穂垣改修
2月2日(土) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
2月7日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
2月9日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00～15:00
2月10日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 10:00～15:00 間伐と竹チップ化・竹穂垣改修 竹林の間伐・竹垣改修(四ツ目垣)
2月12日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
2月14日(木) 援農隊	都筑折本 竹林の間伐 10:00～15:00

2月21日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
2月24日(日) 協力隊	伊豆の国市 韮山 竹林の間伐 10:00～15:00
2月26日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備 10:00～15:00
3月3日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 10:00～15:00 竹林間伐とチップ化处理 筍の保護・竹の活用と修了式
3月7日(木) 協力隊	中井町 竹林の整備 10:00～15:00
3月9日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の整備 10:00～15:00
3月12日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の間伐 10:00～15:00
3月16日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00～15:00
3月17日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林の間伐 10:00～15:00
3月21日(祝木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00～15:00
3月23日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼作り(予定) 10:00～15:00
3月24日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼作り(予定) 10:00～15:00
3月26日(火) 協力隊	こどもの国 竹林の整備 10:00～15:00
3月30日(土) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼設置(予定) 10:00～15:00
3月31日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯笼設置(予定) 10:00～15:00

竹に関する情報がありましたら、どんなことでも結構です。下記宛にご連絡をお願いいたします。

E-MAIL:office141@takefan.jp URL:http://takefan.jp TEL&FAX 045-306-9993